

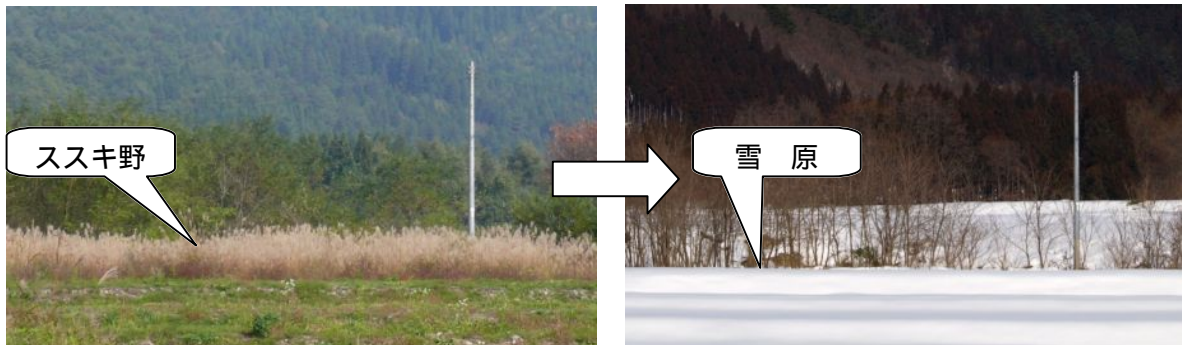
理科室からこんにちは

～ 親子で理科を楽しもう ～

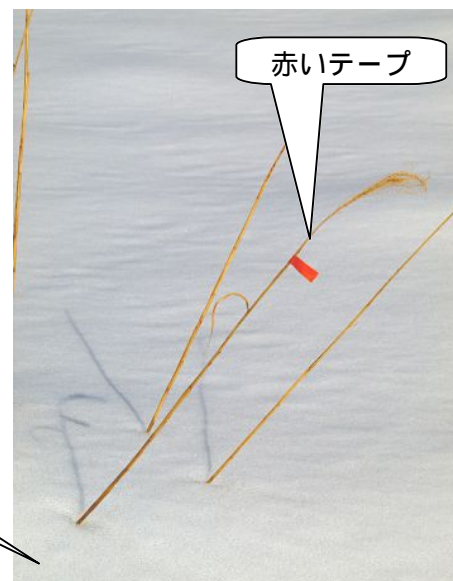
平成21年2月23日

カマキリの卵 その3

「卵の位置によってその地域の降雪量がわかる。最大積雪量+ の位置に産卵され、卵を発見できればその冬の積雪量が予想できる。」という話を聞き、「んなこたねえだろ」で始まったこの研究。今、山は雪に覆われています。写真左のようにススキが一面は生えていた野は、雪の重みでススキが倒れ、そのほとんどが雪に埋まっています。「最大積雪量+ の位置に産卵」されても、ススキは倒れ、埋まってしまうのでした。倒れなくても、埋まるくらい積もっているのですが。



こんな雪の下で、カマキリの卵は生きていますでしょうか。右の写真は、雪が降る前に「ここにカマキリの卵があるよ」と、赤いテープをつけておいたススキです。埋まっています。卵は見えません。「最大積雪量+ の位置に産卵」はされていないのです。秋に調べた20個全てが埋まっているのです。さて、この埋まっている卵が活着しているかどうか.....。



こちら辺に
卵があるはず

春まで待てない私は、埋まっている卵を掘り返してきて、温かい部屋に置いてみることにしました。サンプルの卵のうちたったの一個。採ってきた卵が例外的に強い卵かもしれないし、雪に埋もれる前から死んでいる卵の可能性もあるので、今回の結果がすべてに当てはまるとは言えません。言えませんが、元気に孵化してくれることを願いつつ、朝に夕に虫かごをのぞく毎日です。